

料金別納郵便



三原嘉子 展 —森の中へ—

令和7年3月25日(火)~30日(日) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日30日は午後5時まで)

作家在廊日：会期中、全日在廊予定

陶歴 昭和57年 大阪芸術大学 工芸学科 陶芸専攻(山田 光ゼミ)卒業

卒業後、船木研児先生に2年間師事

平成23年 柿傳ギャラリーにて個展(平成26年、28年、令和元年、4年)

各地で個展・グループ展多数開催 現在、島根県松江市にて制作

風すさぶ睦月の卅日、久々に島根県の出雲に飛びました。出雲空港に降り立つと、真冬の山陰地方らしいゆーっと凍つく風が頬を刺し、思わずコートの襟を立てます。三原嘉子さんと研さんの素敵な陶芸家ご夫妻に逢うため、強風で波が立つ宍道湖を横目に、三原工房に向けレンタカーのガスバダルを踏み込みました。

ご夫妻と再会を祝し、思わず笑みもこぼれます。嘉子さんに研茶碗で点てて頂いた美味しい薄茶をご馳走になりながら、いろんな話に花が咲きました。本展の打ち合わせから、私にお二人とのご縁を紡いで頂いた林屋晴三先生の想い出、お互いの家族の近況、しじみ事情(笑)、そして何より沢山並べてくださった嘉子さんの素敵な最新作の事・・・

早いもので弊廊で6度目となる本展では、嘉子さんの愛くるしい最新作を発表します。昨今の嘉子作品は自由なお心で楽しく作陶されている事が手に取るようにわかる程、魅力に溢れています。これまで鳥や小動物達をうつわに描いたり、鳥や小動物達がうつわに付いていましたが、いよいよ彼ら彼女らがうつわから飛び出し、自由気ままに動き出す様になりました。首をかしげる子猫や、ドヤ顔のうさぎなど、なんとも可愛い裏面の最新作をご覧くださいませ。さらに、うつわに鉄絵で動植物を描く事も始められました。もちろん、これまで同様、研さんも茶碗などっしだけ愛情出品として、会場に華を添えて下さいませ。

後ろ髪を引かれる思いで、三原工房を辞去了。今回は時間がなくて、出雲大社への参拝は叶わず、とんぼ帰りのだったので、大社や出雲そばはまた次の楽しみに。三原さんの展覧会、どうぞ清覧を頂ければ嬉しゅうございます。

店主 安田尚史

柿傳ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

公式Instagram



